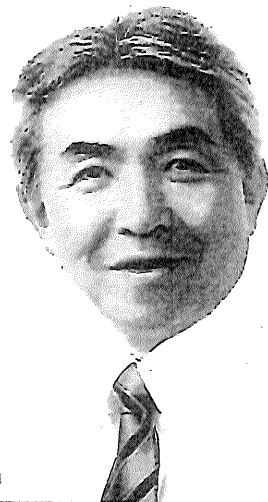


山陽小野田市に夢と活力を!



Goji Fujita

心つなぎ、絆むすぶ、まちづくり。
 山陽小野田に夢と活力を!
「活力GO!」宣言

山陽小野田市は
 近代産業発祥の地として
 工業を中心に発展した
 輝かしい歴史を誇ります。
 しかし、多様化する地域ニーズや
 地域間競争等
 本市を取り巻く環境は
 年々厳しさを増しています。
 私は民間企業で培った
 「経営感覚」と「バランス感覚」で
 市政を地域経営の一環と捉え
 強いリーダーシップで
 まちの未来を創造します。

私のまちづくりの目標

① 市民一人ひとりが「主役」の市政に

私たちのふるさとは、市民一人ひとりが自立できるまちづくりを、みんなの手で主体的につくる時代を迎えています。未来へ向けたビジョンを本気で描く必要があるのです。私はこれまで培ってきた経験と実績のもとに、市民の皆様の声聞き、ともに考え、誇りある山陽小野田市を創造します。

② まちの魅力・財産をフルに活かした市政に

山陽小野田市は、交通の利便性、豊かな自然環境、少ない自然災害に加え、工業を中心に発展してきた歴史、そして山口東京理科大学やレノファ山口など、数多くの飛躍しうるポテンシャル(可能性)を有しています。私は、こうしたまちの魅力・財産を広く発信し、農林水産業をはじめとする輝く山陽小野田ブランドの確立に努め、企業誘致の推進、地域経済の活性化、地域産業の振興などで、更なる雇用の創出を目指します。

③ 未来を担う子どもたちのために

子どもたちはまちの財産です。子どもたちに、多くの体験の場を与え、夢や希望、力強く生き抜く力を育む。そのためには家庭・学校・地域が一丸となって、地域全体で子どもたちを育てる環境づくりが重要です。同時に、女性が安心して子どもを生み育てる環境づくりの充実を目指します。

④ 「チームワーク」で輝く市政に

「市民ファースト」実現のためには「何のための市政か」「誰のための市政か」「目指すべきものは何か」「そのために、今、何をなすべきか」という意識確認・改革が必要です。そうした意識改革と問題の共有化で、強力な「チームワーク」を醸成し、安定した財政基盤と、利便性の高い行政サービスの提供を目指します。

⑤ 夢を持ち続け、いきいきと、安心してくらせるまちに

子どもからお年寄りまで、このまちに生まれ、育ち、学び、働き、住んで、本当に良かったと思っていただけるために、将来への不安が少しでも減り、生涯夢を持ち続けられるまちづくりを目指します。

吉永美子議員

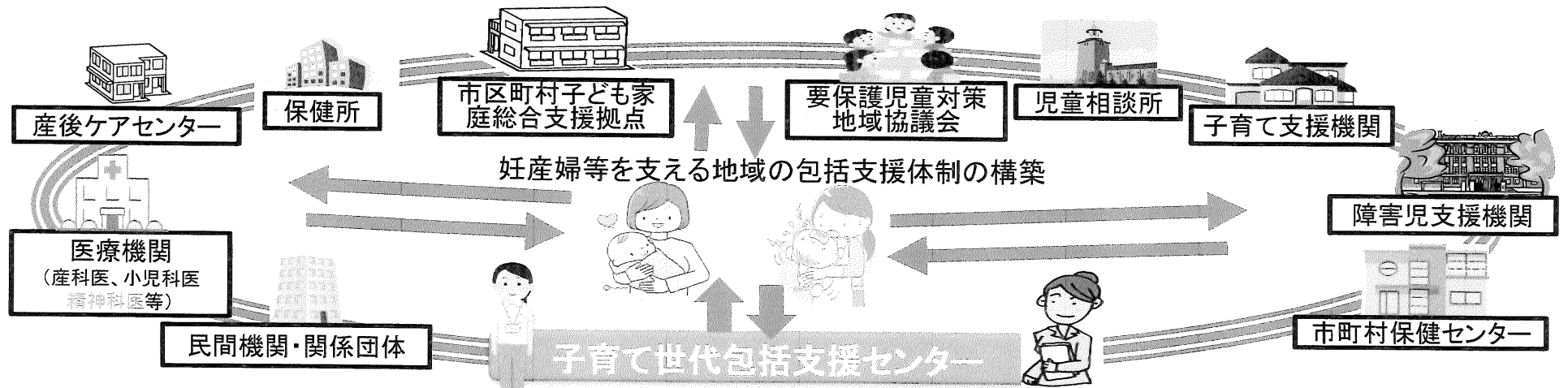
資料1

子育て世代包括支援センターの体制強化

吉永美子議員

資料3

- 今般の新型コロナウイルス感染症の状況により、不安を抱える妊産婦や家庭がある中で、誰もがより安心・安全な子育て環境を整えるため、保健師等を配置して、妊産婦等からの相談に応じ、健診等の「母子保健サービス」を提供することなどに加え、新型コロナウイルス感染症に不安を抱える妊産婦、特定妊婦や、産後うつ、障害がある方への対応といった多様なニーズに対応できるよう、子育て世代包括支援センターに専門職を配置することで、相談支援の機能を強化する。
- 具体的には、子育て世代包括支援センターに、専門職(SW、PSW、心理職等)を配置し、特定妊婦等に対するSNS・メール等での即時の相談対応、アウトリーチによる支援や、市区町村子ども家庭総合支援拠点や要保護児童対策地域協議会との連携強化を行う。



妊産婦等を支える地域の包括支援体制の構築

子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援

保健師 助産師 看護師 その他の専門職

- ①妊産婦等の支援に必要な実情の把握
- ②妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導
- ③支援プランの策定
- ④保健医療又は福祉の関係機関との連絡調整

マネジメント(必須)

困難事例への対応等の支援

社会福祉士 精神保健福祉士 その他の専門職

【専門職が行う業務】

- 妊産婦からの問い合わせに即時対応可能とするため、SNS等を活用した即時の相談支援及び多職種でのアウトリーチによる支援
- 市区町村子ども家庭総合支援拠点、要保護児童対策地域協議会や精神科医療機関との連携の強化
- 嘱託医師との連携によるケース対応等の実施

(必須事業として位置づけ)
相談支援の強化

- 実施主体:市区町村 ■補助率:2/3
- 設置自治体・箇所数1,288自治体、2,052箇所(R2.4.1時点)
- 令和3年度単価(案):専門職の配置による増額 14,209千円

不妊に悩む方への特定治療支援事業の拡充について

令和2年度第三次補正
予算：370億円

目的

出産を希望する世帯を広く支援するため、不妊治療の保険適用を検討し、保険適用までの間は、現行の助成措置を大幅に拡充することとしている。今般、可能な限り早期にその拡充を図るため、第三次補正予算により実施するもの。

令和3年1月から3月の拡充分及び令和3年度12ヶ月分（計15ヶ月分）について、第三次補正予算に計上。

事業の概要

- 要旨 不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成
- 対象治療法 体外受精及び顕微授精（以下「特定不妊治療」という。）
- 対象者 特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、又は極めて少ないと医師に診断された夫婦（治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である夫婦）
- 給付の内容
 - ① 1回30万円
※凍結胚移植（採卵を伴わないもの）及び採卵したが卵が得られない等のため中止したものについては、1回10万円
通算回数は、初めて助成を受けた際の治療期間初日における妻の年齢が、40歳未満であるときは通算6回まで、40歳以上43歳未満であるときは通算3回まで助成（1子ごと）
 - ② 男性不妊治療を行った場合は30万円 ※精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術
- 拡充の適用 令和3年1月1日以降に終了した治療を対象

拡充前

- ✓ 所得制限：730万円未満（夫婦合算の所得）
- ✓ 助成額：1回15万円（初回のみ30万円）
- ✓ 助成回数：生涯で通算6回まで
（40歳以上43歳未満は3回）
- ✓ 対象年齢：妻の年齢が43歳未満

拡充後

- ✓ 所得制限：撤廃
- ✓ 助成額：1回30万円
- ✓ 助成回数：1子ごと 6回まで（40歳以上43歳未満は3回）
- ✓ 対象年齢：変更せず

- 指定医療機関 事業実施主体において医療機関を指定
- 実施主体 都道府県、指定都市、中核市
- 補助率等 1/2（負担割合：国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/2）、安心こども基金を活用

※ 原則、法律婚の夫婦を対象とするが、生まれてくる子の福祉に配慮しながら、事実婚関係にある者も対象とする。

令和2年度山陽小野田市ガラスのブランド化推進事業のプロポーザル審査結果について

- 1 業務概要 市内で活動するガラス作家の作品を山陽小野田市内で制作された商品としてブランド化し、統一的なブランドの下で売れるガラス作品を作り出す。このガラス作品について販路開拓及びプロモーションを実施し、ブランド化したガラス作品の制作をビジネスとして確立させ、ガラス産業としての振興を図るとともに、本市の知名度アップも図ることを目的とする。また、きららガラス未来館がある焼野海岸一帯を含め、本市のガラス文化と合わせた一体的なプロモーションを展開することで、きららガラス未来館や現代ガラス展の来訪者を増やし、交流人口の増加を図る。

当該業務のうち、令和2年度は、「①ブランドのコンセプト、ターゲット等ブランド戦略を立案し、試作品を制作する。」「②今後2年間の具体的な販路開拓計画及びプロモーション計画を作成する。」「③商工会議所や観光協会等で構成し、ブランド戦略、販路開拓計画及びプロモーション計画を協議する「山陽小野田市ガラスのブランド化推進協議会（仮称）」の開催における会議資料及び議事録の作成を行う。」ものとする。

- 2 選定方法 公募型プロポーザル方式

- 3 最高得点者 株式会社マインドシェア
東京都港区三田3-2-8 Net 2 三田ビル

審査結果

(800点満点)

提案者	総得点	評定結果
株式会社マインドシェア	585点	特定
A社	581点	
B社	542点	
C社	455点	
D社	377点	